

40周年記念祝賀会

日本アスファルト合材協会（今泉保彦会長）は15日、東京都千代田区の手町サンケイプラザで創立40周年記念祝賀会を開いた。全国の会員をはじめ、国土交通省、経済産業省の来賓らが出席し、40周年の節目を祝った。

開会に当たり、今泉会長は出席者に感謝の意を述べた上で、「数年前から価格転嫁が思うように進まず、各工場の運営は大変厳しい状況にある。ピーク時は全国に1,740の工場があったが、現在は1,000を割り込んでいる上、合材数量も激減してい

工場の在り方 再考を

日本アスファルト合材協会

る。引き続き関係団体で力を合わせて活動が続けていくが、参加企業の皆さんにも工場の在り方について考えてもらいたい」とあいさつした＝写真。

来賓として出席した国交省の三好義己不動産・建設経済局官房参事官付企画専門官は「経済産業省とも連携し、最新の取引価格に基づく適正な工事契約の締結を受発注者に求めるとともに、昨年6月には建設業法を改正し、資材価格高騰時の契約変更協議が円滑に進むよう新たなルールを設けた。今後も価格転嫁の取り



組みを一層進めていく」と述べた。

経産省の石井芳明製造産業局素材産業課課長補佐は、「引き続き産業界の方々と密に連携し、サプライチェーンの強靱化に取り組んでいきたい。施策を総動員して産業成長に全力を尽くしていく」とあいさつした。

その後、森下協一副会長の発声で乾杯し、懇親に移った。